

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 10 月 27日 (18:00～ 19:00)
------------------	-----	-----------------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	庄島司・柿原千佳・石橋三重子・山見利憲・福川正子・永尾豊和・大久保弘美・松田順子・河野純子・橋本真奈美・田中寿人・福島恵美子・古賀すま子・隈ひろみ・執行由美子
-------------------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	9 人	1 人	人	15(15) 人

前回の改善計画
①利用前に、ミーティングを開催し、共通認識と理解を深めてサービス提供していきます。 ②特になし。 ③特になし。 ④本人と家族の希望にそって必要な相談援助の機会を設けていきます。また、職員各自が状態把握に努め、報告できるようになることで家族と事業所との信頼関係の構築に努めていきます。
前回の改善計画に対する取組み結果
①本人の状態や家族の都合によって早急に利用を開始する時は、日々の申し送りの中でミーティングを開催し、アセスメント情報を使用して本人の心身の状況やニーズについての情報を共有することができました。 ②特になし。 ③特になし。 ④電話や面談の機会を利用して、家族の不安にも耳を傾けました。日々の申し送りが定着したことで職員各自が利用者の状態を把握できたため、本人の状態を家族へ報告することができました。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5 人	9 人	1 人	人	15 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5 人	9 人	1 人	人	15 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	7 人	8 人	人	人	15 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6 人	7 人	2 人	人	15 人

できている点
①利用開始前に面談を行い、得た情報を計画作成担当者が中心となって集約し、フェイスシートとアセスメント、サービス計画書を回覧と口頭での申し送り、ミーティングで職員へ共有しています。 ②利用開始前の面談で、本人や家族のニーズについて聞き取りを行い、サービス計画書に取り入れることで必要としている支援を行っています。 ③サービス利用開始時には、職員が心がけて声掛けをしたり、他の利用者との交流の機会を提供したりして環境へ慣れるために必要な支援を行っています。 ④各職員から得た本人の状態に関する情報を、管理者と計画作成担当者が中心となって、電話や面談等で家族へ適宜報告することで本人と家族の不安が解消できるよう相談援助を行っています。

できていない点
①本人や家族の都合によって、利用開始までの期間に差がありミーティングを開催できず、把握が不十分なことがありました。 ②知識や経験の差によって、サービス計画書では本人や家族・介護者のニーズの把握が不十分なことがありました。 ③特になし。 ④職員によっては面会が少ない家族への相談援助に関わる機会が少ない事がありました。

次回までの具体的な改善計画
①利用開始前に、申し送りの時間を利用して短時間のミーティングを開催し、計画作成担当者から本人の情報やニーズについて書面と口頭で情報共有を行います。また、参加した職員は、参加できなかった職員へミーティングの内容を書面と口頭で伝達をしていきます。 ②利用開始前に、申し送りの時間を利用して短時間のミーティングを開催し、計画作成担当者から本人や家族が必要としている支援について書面と口頭で情報共有を行います。また、参加した職員は、参加できなかった職員へミーティングの内容を書面と口頭で伝達をしていきます。 ③特になし。 ④面会で各職員が相談援助する場面が少ない利用者に対しては、管理者と計画作成担当者が中心に相談援助を行い、その内容を職員へ伝達していきます。